



河辺林通信

建部北町の森から

2018年4月号 No.239

↑キクザキイチゲ、今年の開花は3月15日でした

遊林会20周年・新年度はじまる

さて、4月から新年度が始まりました。遊林会の新年度は河辺の森の利用申込みの電話を取る所から始まります。すでに5、6月の空きはあと少し、10月に至っては1日2団体の受け入れで埋まっています！

実は今年度は遊林会始まって20周年の年なのです。20周年の事業、何かしたいなぁと思いつつ、早く日を決めないと、利用で埋まってしまうという事態になってしまいそうです。

しかし、20周年という数字、改めてすごいなぁと思います。これだけ森の利用があるのも、そして貴重な絶滅危惧種があるのも、20年間ボランティアのみんなが里山保全活動が続けてきたからこそなのです。その20年があるからこそ、今の森が楽しめるのですよ、ということをこの20周年を機会に多くの人に伝えていきたいと考えています。

モリイコR、開催！

森の人気事業、モリイコ！の卒業生たちを対象に、久しぶりにみんなで森に集まって、何かいろいろ楽しいことをしよう！というのがモリイコRです。なんせモリイコの卒業生たちなので、たき火はお手のもの、森歩きもバッチリ、という強者ものばかり。昔の隊長も集まり、なにしろ楽しいイベントなのです。

しかし、これにはまた別のねらいもあります。小学校低学年までは自然でたくさん遊ぶことができた子ども達も、中学・高校になるにつれ、部活やゲームに熱中し、自然と触れあう機会が少なくなります。一方で、学校では自然保護や環境破壊問題を勉強しますが、子どもの力ではなんともできない暗い話題も自然離れに拍車をかけ、心理的な距離も遠くなります。そんなことはもったいない！ということで、大人になるまで、自然の中で遊ぶ機会は作ってあげたい、という思いもある事業なのです。

が、そんな心配を吹き飛ばしてくれるような元気、笑顔っぷり！子どもも隊長も本当に楽しい一日を過ごすことができました。



カナヘビはやっぱり人気でした！

北小4年、森の総合学習発表会

河辺の森から一番近い八日市北小学校さんの4年生は、年間10回以上、森での総合の時間で来られています。



森を歩いたり、竹工作したり、水辺のいきものつかまえたり、たき火をしたり、森の保全をしたり。最終的には、3年生を森に招いて色んなブースを出し、楽しさを伝えるという流れなのですが、今年はなんと総まとめの発表会にお呼ばれました。

少人数のチームに分かれて、それぞれ好きなテーマを掘り下げて調べ、それを様々な形式で発表するというものです。テーマは植物から動物に始まり、たき火や冬の森遊びなど。発表形式も紙芝居や参加型クイズ、劇やコントなど、面白いストーリーもたくさんありました。森の素材を主人公にしてみたり、たき火の方法を細かく解説したり、森のスタッフにも分からない動物の足跡クイズ（ちなみに答えはトナカイの足跡！）などなど。

次は、〇〇について調べたい！という子どもたちもいて、森での活動を深めることが次の興味にもつながっていくということも新たにわかりました。4年生のこの活動、すごい活動ですよ。

●3月の作業だより

第2土曜日（3月10日）18人

① 薪割り班

先月に引き続き、まだ残っていた丸太を斧で薪にしてもらいました。

② 菌うち班

シイタケの菌をホダ木にうちました。菌うちの前に、ホダ木にドリルで穴をあけました。

③ 水辺班

水辺の水を抜き、スズメノヒエを抜きました。そこまで寒くなかったので、作業しやすかったです。

④ 食事班

地場産の野菜をつかったおいしい豚汁でした。鯖や菜の花など、食卓に春が訪れてきました。

木ままクラブ（3月1日）

梵釈寺での活動でした。
お寺の前の河辺に自治会の方と共に桜を植えました。少しだけ観察会もしました。

木ままクラブ（3月15日）

森林組合さんが伐採した、正面入り口のながらしわを薪にしました。堅く重いので、力仕事になりました。

第4水曜日（3月28日）12人

薪割り機とエビナタを使って薪割りをしました。今回割った薪は、夏休みのキャンプ事業で使わせてもらいます。
14箱分もできました。カシを割るのは大変だったと思いますが、これでキャンプも安泰です。

4月の活動日

4/5 (木)	草刈り
4/14 (土)	林内整備
4/19 (木)	梵釈寺 林内整備 薪割り
4/25 (水)	草刈り

朝 9:00～（遅刻可）
第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

3月観察会

今回は「梅」をテーマに行いました。梅は奈良時代に中国文化と共に遣唐使が薬木として中国から日本に持ち帰ったものと言われていて、日本の風土によく合い、平安時代に全国に広まりました。

梅は百花（多くの花）に先駆けて咲くことから、「花の兄」という別名も持っています。それならと、日本の四季の中で最後に咲く「花の弟」は菊の花だそうです。
花の歴史や名前の話しをしたあと、「梅と桃と桜のちがいを比べてみよう！」のワークショップをしました。よく似ている梅・桃・桜の花の形や花芽、幹や咲く順番などカードにした物を表に当てはめていきました。最後は答え合わせのために、森にある梅を見に行きました。みなさんが一番悩んでいたのが花芽の形でしたが、実物をみながら「やっぱりこれだな」と確認されていました。

寒い冬を乗り越え、暖かな陽射しと共に咲き出す、梅の花や香りに気持ちがほっこりした観察会でした。

梅と桃と桜、
どれがどれだ!?→



谷口隆雄さん
「暮らしの水彩画」作品展

河辺いきものの森ネイチャーセンターで、東近江市建部在住の谷口隆雄さんが描かれた水彩画の作品展を行います。

「河辺いきものの森」や建部の身近な風景など、優しい色合いの自然の風景画は見ている人が楽しく、心あたたま作品です。

期間：4月4日（水）～5月6日（日）
場所：河辺いきものの森 ネイチャーセンター
料金：無料



河辺いきものの森 ネイチャーセンター

開館時間 4月9:00～16:30
5月9:00～18:00
*月曜日と、5月1日は休館です

編集後記

3月といえば年度末。事務局の中は報告や資料などの書類と声が行き交って慌ただしさが目に見えるようでした。報告書が終わって一息つく間もなく、春休みのイベント。でも忙しいのはいいことなのでしょう。とは言いますが、来年度は計画的に年度末を過ごしていこうと決心しました。

望月

【発行者】
特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp